



県内最古の棟札発見?

「新修宗像市史」中世部会の活動から

「新修宗像市史」の編さんは、時代と分野による6つの部会で事業を進めています。中世部会は部会員5人で、主に鎌倉・室町時代を対象としています。今回は、これら2つの時代の史料について紹介します。

問い合わせ先 郷土文化課 ☎(02)2600



王丸の八幡神社の宮座

殿の扉を開き、内部に納められている歴代の棟札を拝見しました。薄暗い社殿の中に、幅約20センチ、長さ1メートルの古い板があり、それぞれ数行にわたり墨で文字が書かれています。明るいところに一枚ずつ運び出してじっくりと見ると、多数の近世の棟札に交じって、なんと500年以上も昔の室町時代、文明3(1471)年に、大宮司・宗像氏郷(うじさと)が当時の「与里嶽(よりたけ)宮」を造営した時の棟札を発見。早速、九州歴史資料館で赤外線撮影をして確認したところ、福岡県で現存する最も古い棟札の可能性があると分かりました。今後の歴史の解明に、夢がふくらんだ調査でした。

(市史編さん事務局) 牛嶋英俊

田野の依岳(嶽)神社

依岳神社の宮座に参加し、その後、許可を得て社

王丸の八幡神社
同社には、戦国時代の天正9(1581)年の古い棟札や、お宮の祭礼行事で

王丸の八幡神社

棟札とは、建物の棟上げのときに書かれた木の札で、棟上げの年月日、造営者、関わった大工さんの名前などが記されています。これによって、建築年代や建てた人など、建物の素性が明らかになります。

ある「宮座」関係の資料が所蔵されています。棟札に書かれた文字は、今は薄れて読めないところがありますが、昔の人が読み取った棟札の写しと、九州歴史資料館での赤外線撮影の結果を照らし合わせて、新たに読めた文字があります。これらは、戦国時代にこの地に勢力をふるった宗像大社の大宮司・宗像氏貞と、領内の神社造営の関係を知る手がかりと、貴重な棟札と想われます。



依岳神社の棟札調査



今長谷照子さん講演会 「勝海舟」

本年度の市民図書館と河東コミセン共催事業講演会の第2回です。幕末の動乱の中、広い視野と信念を持って行動し、坂本龍馬や西郷隆盛らに影響を与えた幕臣・勝海舟について語ります。

- 主催 市、河東地区コミュニティ
- 日時 7月2日(土)
▽開場=13:30 ▽実施=14:00~16:00
- 会場 河東コミセン・多目的ホール
- 定員 先着80人 *受講できない場合のみ連絡
- 申込締切日 6月29日(水)
- 申込必要事項 ①講演会名②氏名③電話番号
*メールの場合は、件名に講演会名を明記
- 申込先 宗像ユリックス図書館
▽ハガキ=〒811-3437/久原400
*申込締切日必着
▽FAX(37)2956
▽Eメール=tosyo@city.munakata.fukuoka.jp
▽窓口(市民図書館全館)

問い合わせ先 図書課 ☎(34)2263



「おひさま文庫」平成28年度 子どもの読書活動優秀団体で 文部科学大臣表彰受賞

子どもへの読み聞かせ活動を続けていることに対して、読書推進ボランティア団体「おひさま文庫」が表彰されました。これまでの活動を振り返り、代表の野田美子さんにお話をしてもらいました。

「おひさま文庫」は、昭和54年、日の里に初めて公民館ができたとき、その当時の館長から「子どもたちがたくさん来てくれるようにしてほしい」と頼まれ、誕生しました。「まだ始めんでえー」と叫びながら公民館の坂道を駆けてくる子どもたちに、毎週火曜日の放課後に、絵本の読み聞かせと紙芝居、本の貸し出しを7年間続けました。ボランティアにとっても幸せな時間でした。30年が過ぎ、子どもたちを取り巻く環境はかなり変わりましたが、幼稚園や小学校で絵本の読み聞かせに聞き入っている子どもたちの輝く瞳は変わりません。これからも子どもたちの笑顔を見るため、活動を続けていきたいです。

現在、「おひさま文庫」は、日の里東小学校で朝の読書活動での読み聞かせを中心に活動を展開中です。



おひさま文庫代表の野田さん

医王院 宗像市認可霊園
宗像大社高宮祭場横
宗像聖地霊園

当霊園は宗旨、宗派を一切問いません。
承継者がいない方でも安心して申し込みます。

●所在地:福岡県宗像市田島2211番地 ●交通:西鉄・宗像大社前バス停徒歩10分 ●経営許可番号:18宗環第86号

お申し込みお問い合わせは
☎0940-62-1566

永代供養相談受付中

墓地代(永代使用料)1区画

1.8㎡	2.35㎡	3.3㎡
144,000円	188,000円	264,000円

※表示は管理費抜きの価格です。

